

里地里山ナチュラリスト養成講座

～里地(農地)里山(樹林地)を まもる、かかわる、つなぐ～

足元の自然の魅力を知って、体験しよう!



岡上の川ー山ー大学ー
田んぼへとひとまと
まりの中での学習。

回	期日	テーマ	内容
1	10月27日(土)	都市化の中で自然と共生する豊かさ ー自然にかかわりながら、自然を知るー	岡上のかわ道楽や NPO かわさき自然と共生の会の活動現場を堂前雅史和光大学教授から案内して頂き、「都市の自然環境重視は世界の流れ」「谷戸=夜刀は日本では古くからの概念」などの講義を受けました。水の里:岡上の生物多様性も実感できました。
2	11月24日(土)	秋深まる「三輪の森」へ ー里山で持続可能なシステムを学ぶー	三輪の森ビジターセンターで三輪里山クラブフィールドリーダーの久保重明さんから活動内容を聞き、現地を案内してもらいました。下麻生のお隣に素晴らしい里山があり、人々がいました。
3	12月8日(土)	農業・農地を守るための語り合い ー都市農業の明日へ。生産緑地はどうなる?ー	生産緑地法改正や 2022 年問題などについて、都市農業振興センター農地課の地引俊輔さんからその概要を説明してもらい、緑政部みどりの保全整備課長木村博彦さんからは大切な緑としての農地の位置づけを話して頂きました。片平の長瀬和徳さん(農業委員会会長)は当事者としてその良さを語りました。ティータイムの質疑応答を通して、行政のきめ細やかな対応をもお願いしました。
4	1月20日(日)	いきもの(動植物)の賑わいを発見する ー観察、写真撮影、記録するコツを学ぶー	はるひ野里山学校の窪田迅郎さん、柿生の里クラブの雛倉正人さん、和光大学地域流域共生フォーラムの齋藤透さんから観察・撮影・記録を紹介頂き、活動しつつ学び発見していく過程の大切さを学ぶ。
5	2月23日(土)	里地里山ナチュラリストのすすめ	“2019 里山フォーラム in 麻生”に参加し生産緑地の入っているみどりのマップを念頭に様々な活動団体の方々と交流できました。
6	3月10日(日)	黒川や里山の恵みを学び、修了式	黒川青少年野外活動センター周辺の春間近な自然を巡りながらどんぐり山へ。職員の川村知義さんからセンターの立ちやネイチャーボランティアのお話を聞き、青芋粉を使って麦とからむしの調理実習。黒川焙煎珈琲を味わいながらの終了式でした。



↑三輪の森↓ビジターセンター前



あさお 里山こどもクラブ

ふるさと麻生の里地里山の恵みや不思議を
探検・発見・体験するあさお里山こどもクラブ。
足元の自然に親しんで
自然や文化の守り手になるプログラムです。

耳を澄まし目を凝らし、自分の手と体と心で感じ、
自分の頭で考えましょう。
「不思議」がむくむく湧いてきたら
調べてみよう、聞いてみよう！

第1回 7月16日(月曜)

からむし(苧麻)講座 ① -「からむし」で紙すき-

講師 高柳芳恵(ナチュラリスト)
会場 麻生市民館料理室・実習室
協力 からむしボランティア、里山フォーラム in 麻生幹事、まちはミュージアム-遊歩道ファンクラブ、柿生の里クラブ、早野聖地公園里山ボランティア

麻の里=麻生区の地名が由来する苧麻(からむし)。「からむしってなあに？」を紐解き、茎の繊維を利用して麻生区産の紙を漉きました。

「センイ」は細長くすると糸になり、細かくすると紙になります。



第2回 7月29日(日曜)

からむし(苧麻)講座 ② -大昔からからむしを使っていた-

案内 石井よし子、里山フォーラム in 麻生幹事・スタッフ
会場 東京都埋蔵文化財センター
協力 東京都埋蔵文化財センター：
広報学芸担当調査研究主任 並木仁

縄文時代の遺跡から、からむしで作ったという品が出てきています。麻生区が位置する多摩丘陵でも、昔から「からむし」を栽培し利用

して来たことが分かります。麻生区のお隣多摩市にある東京都埋蔵文化財センター：縄文の村でその当時の人々の暮らしに触れてみました。



【今年度も応募が多かったためできるだけ定員を増やして対応しました。

赤・黄・青・緑の4チームに構成して、大勢の方々の協力を得て開催しました。】

第3回 9月9日(日曜)

麦の学習 in 岡上

講師 里山フォーラム in 麻生幹事・スタッフ

会場 岡上地区、岡上分館

協力 柿生の里クラブ、齋藤透(和光大学地域
連携研究センター地域共生フォーラム)

飛び地「岡上」で「麦」(オオムギ
・コムギ)を学びました。



第4回 10月21日(日曜)

木の実・草の実・不思議だね

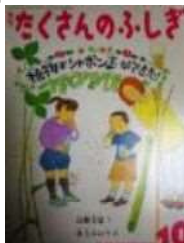
-シャボン玉ができた?-

講師 高柳芳恵 (ナチュラルリスト)

会場 王禅寺ふるさと公園

助手 川名和恵 協力 里山
フォーラム in 麻生幹事

あらあら不思議。色ん
な植物がシャボン玉に
なりました!



第5回 11月11日(日曜)

五感で楽しむ秋の里山

講師 小林健人 (長池公園副園長)

会場 おっ越し山~柿生の里散歩道~
柿生の里特別緑地保全地区

協力 里山フォーラム in 麻生幹事、
柿生の里クラブ

冬を前に大忙しの生きものたちを
見つけたり、拾った葉っぱや木の
実で動物を作りました。畑でお芋
ほりも出来ました。



第6回 12月2日(日曜)

私たちがも里山で冬の準備

講師 柿生の里クラブ、

里山フォーラム in 麻生幹事

会場 柿生の里特別緑地保全地区

協力 里山フォーラム in 麻生スタッフ

紅葉がきれいな柿生の里で、落ち葉
掃きをしてから大麦・小麦の種蒔き、
焼き芋、遊ぼうパンを焼き修了式。





里地・里山カフェ塾

からむし講座



麻生区の地名の由来と言われる 麻-苧麻(からむし)。人々はからむしの繊維で紐や糸を作り衣服、漁網、紙などをつくり暮らしに役立てていました。7月3日、12日のボランティア研修(学習&実習+演習)で木綿以前の繊維:麻や苧麻を学び、苧引きして繊維を取出し、あさお里山こどもクラブへ向けての準備をしました。

万福寺鮮紅大長人参

「第19回品評会&試食会-私の万福寺人参を語り合う会」は12月22日に開催され、会場には過去最多の33点の出品人参が並びました。圧巻の90cm越えの姿の良い人参も登場し会場全体に興奮が広がりました。試食会ではこの人参らしいこくのある味と香りを堪能し、小学生等と万福寺人参の歌を歌い来年に向けてエールを交わしました。入賞者の方々は、最優秀賞-鈴木章夫、味覚賞-かながわ野菜ソムリエコミュニティ、香り賞-山崎優、姿賞-マッシュファーム中野賢一、ユニーク賞-金程中大森、努力賞-金程小4年・千代ヶ丘小A、特別賞-鈴木京子・(色彩)タイガーファームでした。(審査委員 成松次郎,長瀬和徳,岩本陽児,三枝和孝)(共催 万福寺人参友の会)



第13回 わたしのまちのホッとする風景写真展(今編、昔編)

*麻生区長賞 真下智彦
「花桃の里」(王禅寺)



何気なく、そして素敵な風景や情景を麻生のまちの記憶として共有していこうと112点の写真をお寄せいただきました。今年天候や里山ならではの作品や場所への思いが込められた力作ぞろいの作品を麻生市民館オープンスペースで2月9日~3月13日まで展示しました。

《受賞作品の紹介》*ホッと賞 雛倉正人「水鏡・台風一過の田園」、窪田迅郎「秋の陽は眩しいな」、村上幸史「暮秋」、東川提男「どんど焼き」、mie「おっ越し山の音楽家」

*麻生市民館長賞 谷本勝彦
「朝靄の輝き」(早野)



*里山フォーラム賞 安藤敬
「春のおとずれ」(古沢)



特別賞
(昔編)
←長瀬和徳
鈴木秀雄→



主催 里山フォーラム in 麻生/麻生区生涯学習支援課(麻生市民館)

里山フォーラム E-mail satoyamaforum@gmail.com TEL 070-6426-6123 麻生市民館 TEL 044-951-1300